

新宿駅西口現地本部運営マニュアル

【2015 年度版】

2015 年 10 月

新宿駅周辺防災対策協議会 西口部会

もくじ

1. 基本的な考え方	1
2. 西口現地本部の活動について	1
(1) 駅周辺事業者の情報交換の拠点	1
(2) 地域の応急救護の情報拠点	1
(3) 地域の災害対応活動の支援拠点	2
3. 西口現地本部の設置	2
(1) 設置基準	2
(2) 設置場所	2
(3) 設置決定者	2
(4) 設置者	2
(5) 運営者	2
4. 「現地本部」の撤収	2
(1) 撤収基準	2
5. 西口現地本部のレイアウト図(参考)	3
6. 西口現地本部の組織体制と各者の役割	3
7. 新宿駅周辺における組織(連絡)体制(災害時の情報収集・伝達について)	6
8. 局面毎の活動項目 (案)	7
9. 情報の取り扱いルール	8
(1) 取り扱う情報について	8
(2) 西口現地本部における情報共有ルール	9
(3) 西口現地本部と関係機関の情報のやりとり	9
(4) 現地本部内での情報の整理・共有方法	11
取りまとめの様式(案)を 11 章に示しました。状況に応じて柔軟に加工等を行い取りまとめます。	11
(5) 西口現地本部での情報の流れ	14
(6) 新宿区対策本部との連絡	15
(7) 身の寄せどころのない滞留者の誘導	15
(8) 建物被害対応専門家への対応	15
(9) バーチャルマップによる情報収集・発信【今年度は実施せず】	15
10. 西口現地本部に必要な主な資材【要確認】	16
11. 西口現地本部における情報共有フォーマット	17
(1) 地震に関する情報	17
(2) 主要な関係拠点と連絡先	18
(3) 入手情報の一時的な整理	19
(4) 各ビル等における傷病者等の発生状況	20
(5) 各ビル等の安全性確認結果	21

1. 基本的な考え方

大規模地震が発生した場合、新宿駅西口地域において多数の傷病者が発生するとともに、帰宅困難となる事業所の役職員や来街者が多数発生します。また、公共交通機関の運行停止に伴い新宿駅周辺は多くの滞留者で混乱する恐れがあります。

しかし、発災直後においては、自治体や警察・消防などの行政機関は、多数の被災者の救命救助をはじめとする災害対策活動に従事せざるを得ず、個々の事業者への支援には限界があります。

そこで、新宿駅西口地域の事業者による行動指針を策定の上、「西口現地本部」を設置し、新宿駅西口地域の事業者が必要な情報を共有し、連携して効率的な災害対応活動を行うとともに、周辺滞留者へ情報を提供することで、新宿駅西口地域全体の災害対応力を向上させるために本マニュアルを策定致します。

2. 西口現地本部の活動について

西口現地本部の主要な役割は次の3つです。

(1) 駅周辺事業者の情報交換の拠点

【目的】

駅前の混乱を最小限に留めるとともに、滞留者を適切に誘導するため、事業所内に一斉帰宅行動を抑制するとともに、地域内の滞留者を適切な場所へ誘導する。そのために必要となる、各事業所内の滞留者や駅周辺の滞留者に提供する情報を、西口現地本部を中心に収集分析し、情報発信する。また、現地本部が収集・分析した情報をもとに、周辺の滞留者に対しても情報発信を行う。

【取り扱う情報】

交通機関の情報(運行情報)、駅周辺の被害状況(危険箇所等)

【現地本部への情報の提供元】

西口周辺の事業者、新宿区、東口現地本部、現地本部から派遣したレポーター 等

【現地本部からの情報の提供先】

西口周辺の事業者、東口現地本部等、滞留者

(2) 地域の応急救護の情報拠点

【目的】

「自助」で対応できない傷病者を搬送する場合に必要な適切な情報を提供するため、地域の事業者における傷病者の発生状況や、新宿区を通じて得る地域の医療救護所や近隣の災害拠点病院の情報(受入の可否、受入条件、活動状況)を収集・整理し、各事業所に提供する。

【取り扱う情報】

各事業所での傷病者の対応状況、地域の応急救護所での対応状況、近隣の災害拠点病院の対応状況

【現地本部への情報の提供元】

西口周辺の事業者、地域の医療救護所、新宿区

【現地本部からの情報の提供先】

西口周辺の事業者

(3)地域の災害対応活動の支援拠点

【目的】

地域の事業所における災対活動の円滑な実施を支援するため、各事業所、関係拠点及び現地本部における専門家、ボランティア要員及び資機材等の過不足を把握し、優先順位等を判断し調整等を行う。

【取り扱う情報】

専門家、ボランティアの派遣可能数、資機材の提供可能数

専門家、ボランティアの必要数、資機材の必要数

専門家、ボランティアの提供情報(何処から何処へ)、資機材の提供情報(何処から何処へ)

【現地本部への情報の提供元】

各事業者(各ビル)、地域の医療救護所、新宿区、東口現地本部

【現地本部からの情報の提供先】

各事業者(各ビル)等

3. 西口現地本部の設置

(1)設置基準

- ・新宿駅西口の事業者が「現地本部」の設営が可能な時間内であり、かつ以下のいずれかの条件を満たす時
- ・23区内で震度5強以上の地震に見舞われた時
- ・地元自治体、新宿西口事業者等から「現地本部」設置の要請があり、設置決定者が必要と判断した時
- ・23区全域で鉄道が運転を見合わせた場合

(2)設置場所

- ・工学院大学2階(新宿区と工学院大学の協定に基づく)

(3)設置決定者

- ・協議会座長、副座長

(4)設置者

- ・現地本部設置予定地に駆けつけた事業者
- ・工学院大学

(5)運営者

- ・現地本部に駆けつけた事業所職員等

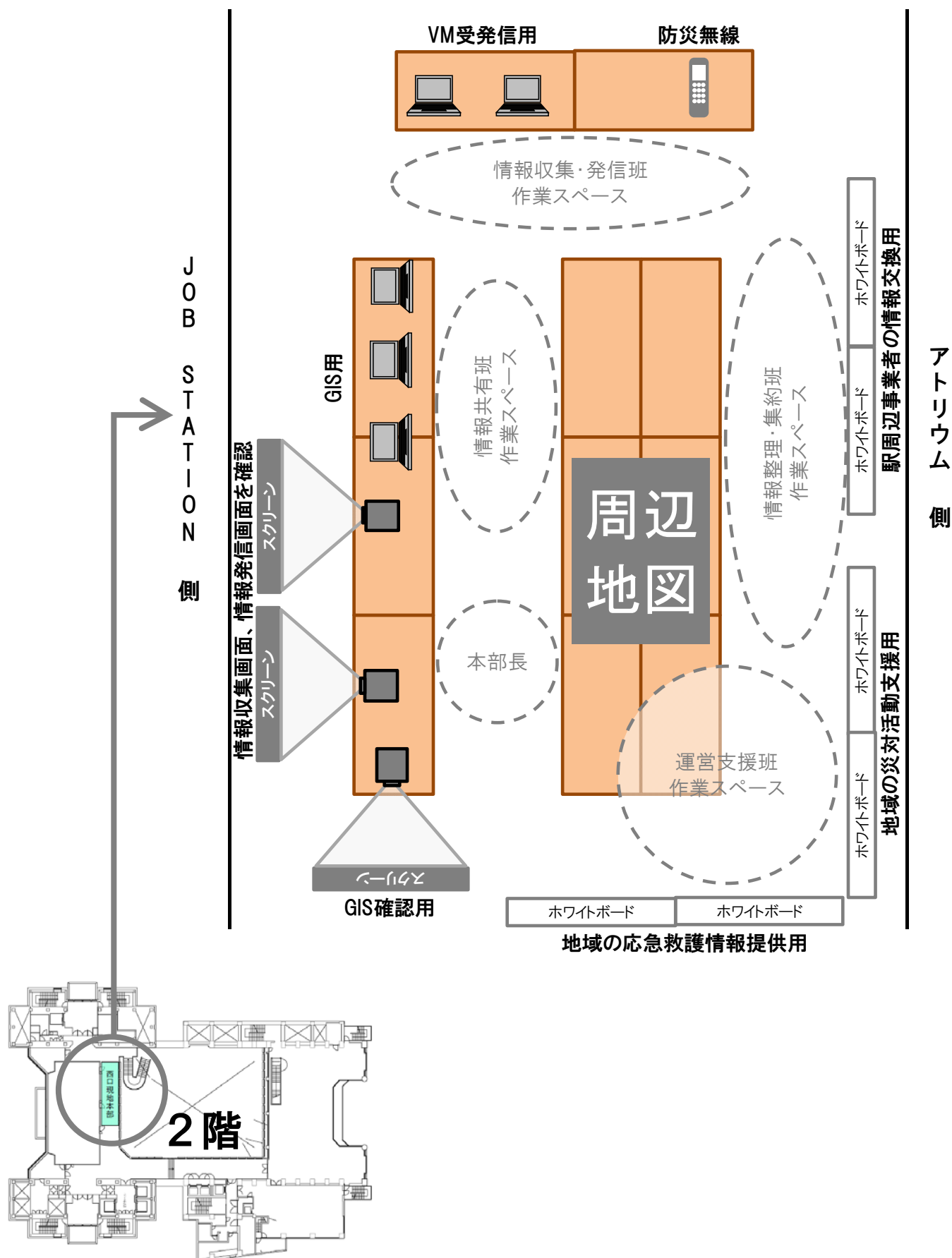
4. 「現地本部」の撤収

(1)撤収基準

- ・地元自治体から「現地本部」撤収の要請があった時
- ・現地本部運営メンバーの過半数が撤収が必要と判断した時

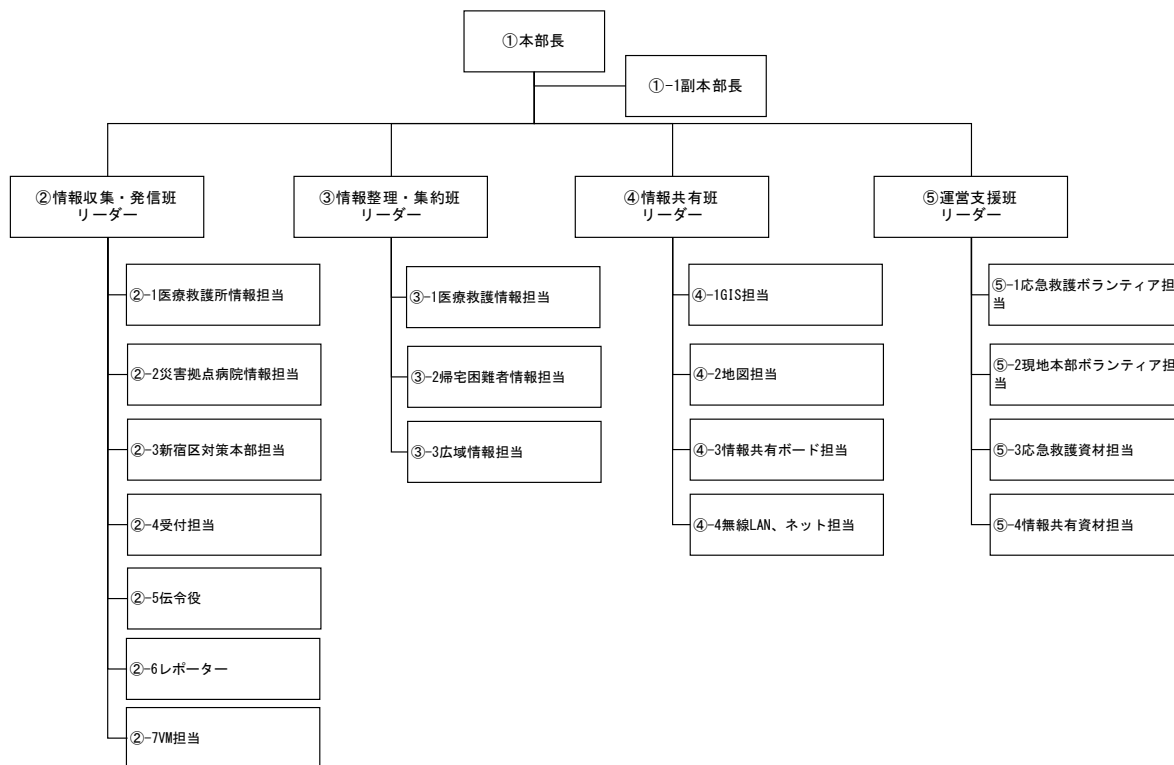
5. 西口現地本部のレイアウト図(参考)

階段(1階へ)



6. 西口現地本部の組織体制と各者の役割

「西口現地本部」の組織体制は「本部長」のもとに「副本部長」を設け、全体を「情報収集・発信班」、「情報整理・集約班」、「情報共有班」及び「運営支援班」の4つの機能に分割します。また、この4班は各担当に分かれて活動します。各担当自体や各担当に割り当てる要員は、活動実態に応じて随時、柔軟に兼務・増員します。



■西口現地本部の各役割の割り当て手順

次の手順で担当者を割り当てるものとします。

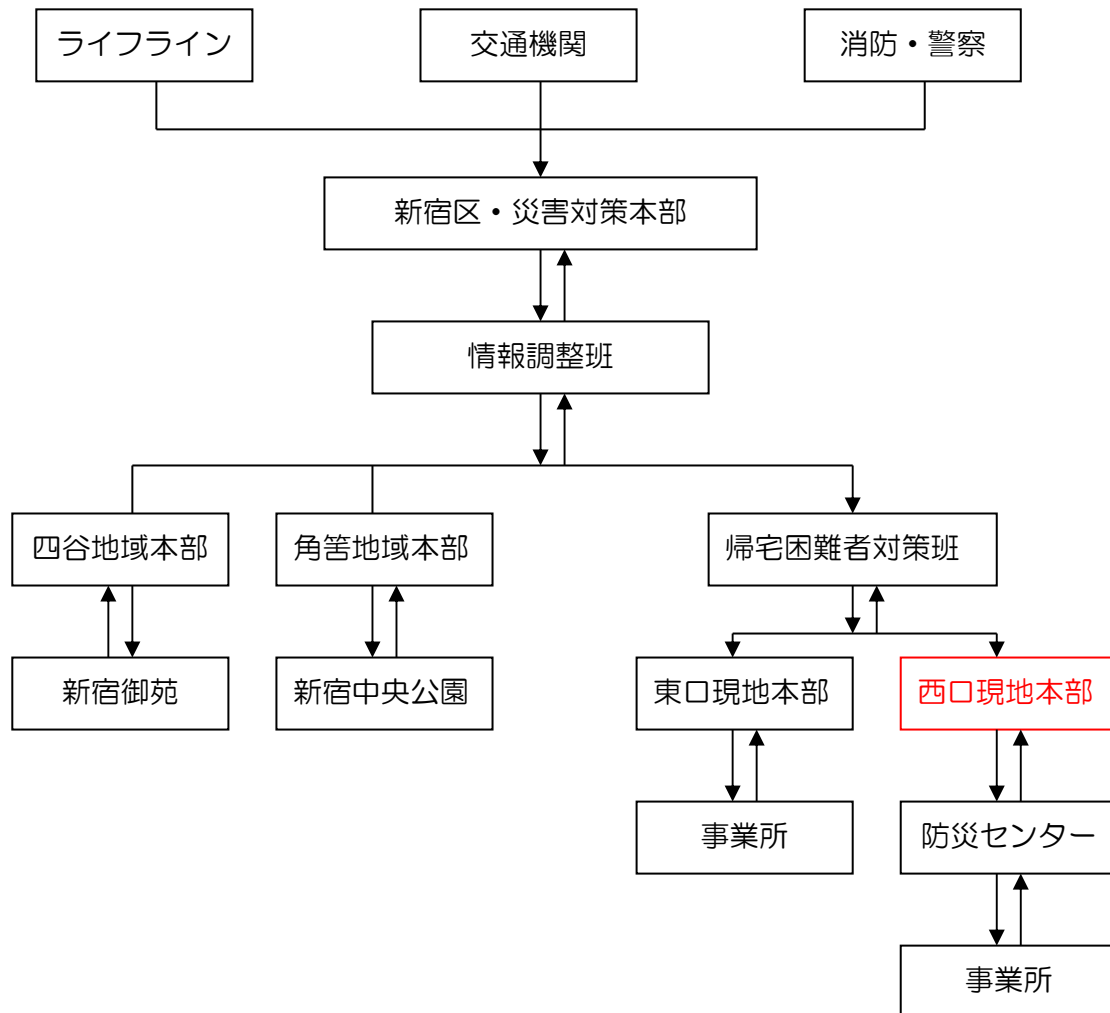
手順	優先順位	内容
1	①	最初に現地本部に到着した者が「本部長」となる。複数到着した場合には、協議の上適任者に「本部長」を割り当てる。 ※以降、「本部長」は適任者に随時引き継ぐものとする。
2	②、③、④	・本部長は、「情報収集・発信班」「情報整理・集約班」及び「情報共有班」のリーダーを設置する。 ・参集者が班数に満たない場合には、随時兼務する。 ・「運営支援班」の活動については本部長が兼務する。
3	⑤	・参集人員が4人以上となった場合には、「運営支援班」のリーダーを設置する。
4	各班内の担当	・参集者の状況にあわせ、「各班リーダー」が随時班内の担当を割り当てる。 ・参集者が担当数に満たない場合には、随時兼務する。

西口本部役割分担表(案)

役割	活動内容	訓練時の担当者氏名	訓練時の担当者所属	備考
①西口現地本部統括				
①本部長	現地本部の運営指揮(状況把握、意思決定、指示、外部との調整)			事務局で代行
①-1 副本部長	本部長サポート			
①-2 副本部長	本部長サポート			
②情報収集・発信班				
②リーダー	班内の運営指揮			
②-1 医療救護所情報担当	各ビル等の応急救護/医療救護所の情報取り扱い			
②-2 災害拠点病院情報担当	災害拠点病院の情報取り扱い			
②-3 新宿区対策本部担当	新宿区からの情報取り扱い			新宿区職員
②-4 受付担当	西口事業者からの情報受付			
②-5 伝令役				
②-6 レポーター	現地本部から派遣され地域の情報を収集・報告する			学生さん
②-7 VM担当	VMを活用した滞留者向けの情報発表を行う			操作は学生さん
③情報整理・集約班				
③リーダー				
③-1 医療救護情報担当				
③-2 帰宅困難者情報担当				
③-3 広域情報担当				
④情報共有班				
④リーダー				
④-1 GIS担当	情報共有システムに入力			
④-2 地図担当	地図に記入			
④-3 情報共有ボード担当	共有ボードを用いた帰宅困難者情報の集約			
④-4 無線LAN、ネット担当	無線LANを用いた情報共有			学生さん、インフォマティクス社
⑤運営支援班				
⑤リーダー				
⑤-1 医療救護ボランティア担当	受付、確認、派遣			
⑤-2 現地本部ボランティア担当	受付、確認、派遣			
⑤-3 応急救護資材担当	応急救護用の資機材の支援、提供			
⑤-4 情報共有資材担当	情報共有用の資機材に関する技術的な支援			
⑥訓練事務局・記録担当【訓練実施時】				
⑥リーダー				ビデオ撮影1名、デジカメ撮影2名
⑥-1 各種記録担当				タミー機関役

7. 新宿駅周辺における組織(連絡)体制(災害時の情報収集・伝達について)

災害時、ライフラインや交通機関の情報は、防災行政無線を通じて新宿区の災害対策本部に集約されます。区は、その情報を防災行政無線の一斉通報により、地域に提供していきます。避難場所である新宿御苑・新宿中央公園の情報は、各地域本部から情報調整班を通じて災害対策本部に集約されます。新宿駅周辺防災対策協議会が運営する東西の現地本部に持ち寄られた情報は、帰宅困難者対策班を通じて災害対策本部に集約されます。



8. 局面毎の活動項目(案)

【大規模地震の場合】

	局面	新宿駅西口地域における あるべき姿	西口現地本部の主な活動
<input type="checkbox"/>	1. 発災 発災から 1～2 時間 程度後まで	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の混乱を抑える。 ・各自が身の安全を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業者が自助の活動を行う。 ・西口現地本部を設営する。 ・地域の応急救護所を設営する。
<input type="checkbox"/>	2. 避難 発災後 6 時間程度 後まで	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所等の役職員や来客等については、安全性が確保されていれば事業所に留まる。 ・身の寄せどころの無い滞留者を「避難場所(新宿中央公園)」に誘導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急救護所の運営に必要な情報を収集整理する。 ・傷病者対応情報を西口地域で共有する。 ・地域内事業者、駅前滞留者等へ情報等を発信する。 ・帰宅困難者への情報を提供する。
<input type="checkbox"/>	3. 滞在 発災後 12～24 時 間程度後まで	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所等の役職員や来客等については、安全性が確保されていれば事業所に留まる。 ・「避難場所」で待機している滞留者を一時滞在できる施設等に誘導し、一時滞在する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の事業者の災害対応活動や事業継続活動を支援する。 ・一時滞在可能な施設等の情報を発信する。
<input type="checkbox"/>	4. 帰宅 公共交通機関確保 後(1～3 日程度後 まで)	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧した鉄道や代替交通機関等を利用して帰宅する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や代替交通機関等の情報を滞留者に提供し、地域内の滞留者の帰宅を支援する。

9.情報の取り扱いルール

(1)取り扱う情報について

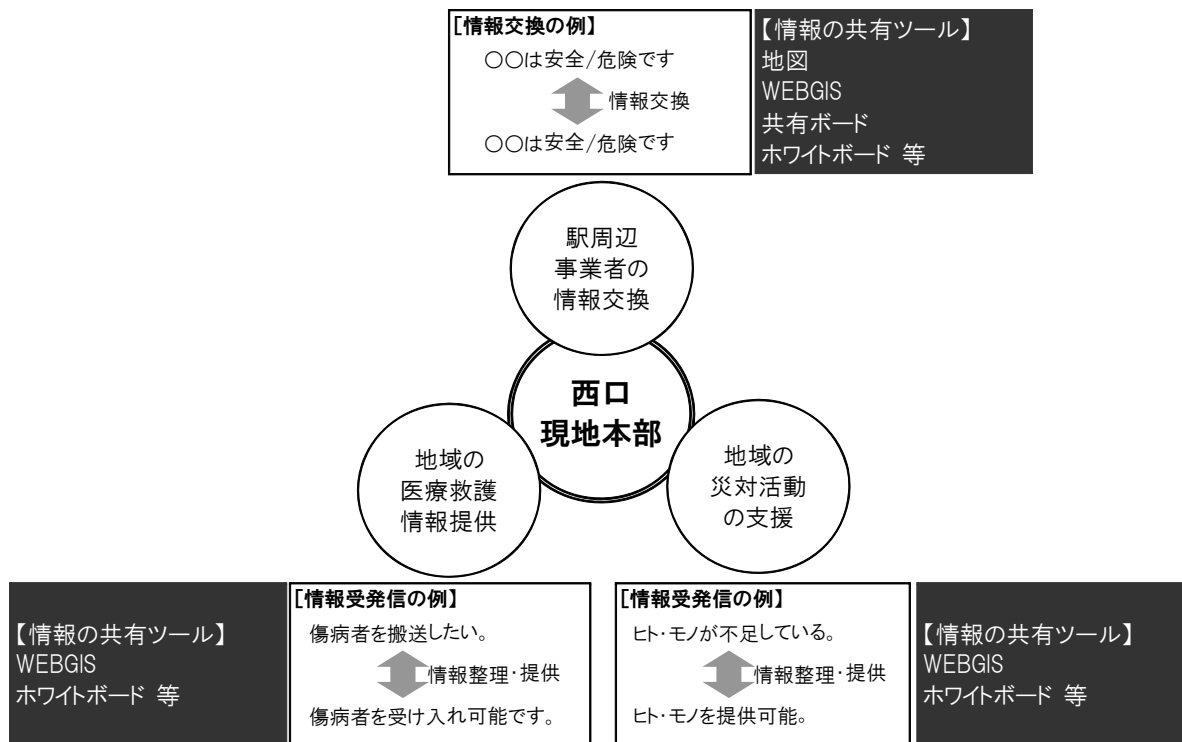
西口現地本部では、下記の情報を取り扱います。

表 西口現地本部で取り扱う情報について

情報概要等			
情報の提供者	項目	主な内容	情報の活用方法
新宿区	1. 鉄道の状況	各路線の運行状況、再開見込み	滞留者への情報提供
	2. 周辺の道路等の状況	道路の通行状況、危険箇所等	滞留者への情報提供
	3. 誘導先の状況	帰宅ステーション(中央公園、新宿御苑)、その他受入先への誘導可否	滞留者への情報提供
	4. 情報提供の状況	各情報提供場所での情報提供の有無	滞留者への情報提供
	5. 火災の状況	火災発生場所と状況	滞留者への情報提供
	6. 周辺医療機関の状況	主要医療機関の受入可否	滞留者への情報提供
地域内各ビル	7. 滞留者の状況	滞留者人数	誘導先の案内
	8. 負傷者の状況		
	重傷者	重傷者数、対応の可否、搬送希望数	ボランティアの派遣、地域応急救護所での受入判断
	中軽症者	中軽症数、対応の可否、搬送希望数	ボランティアの派遣、地域応急救護所での受入判断
	9. 災害時要援護者の状況	災害時要援護者の場所と人数	ボランティアの派遣、地域応急救護所での受入判断
	10. 要援護者の搬送先の状況	搬送先の受入可否	滞留者への情報提供
	11. ビルの被災状況	搬送先の受入可否	滞留者への情報提供
	12. 専門家・ボランティアの状況		
	応急救護ボランティア要請	応急救護ボランティア派遣の必要有無	各ビル/応急救護所で共有
	その他専門家・ボランティア要請	その他ボランティアの必要有無	各ビル/応急救護所で共有
	13. 資機材の状況		
	応急救護資機材の要請・(提供)	応急救護資機材の必要有無、(提供可否)	各ビル/応急救護所で共有
	その他資機材の要請・(提供)	その他資機材の必要有無、(提供可否)	各ビル/応急救護所で共有
医療救護所	14. 医療救護所の状況		
	各応急救護所の状況	地域の応急救護所の対応可能傷病者数、現受入状況	地域応急救護所での受入判断
	15. 専門家・ボランティアの状況		
	応急救護ボランティア要請	応急救護ボランティア派遣の必要有無	各ビル/応急救護所で共有
	その他専門家・ボランティア要請	その他ボランティアの必要有無	各ビル/応急救護所で共有
	16. 資機材の状況		
	応急救護資機材の要請・(提供)	応急救護資機材の必要有無、(提供可否)	各ビル/応急救護所で共有
	その他資機材の要請・(提供)	その他資機材の必要有無、(提供可否)	各ビル/応急救護所で共有
広域情報(FWA)	17. 広域情報(新宿周辺以遠の情報)		
	都内外の状況	新宿周辺以遠の情報	帰宅困難者支援

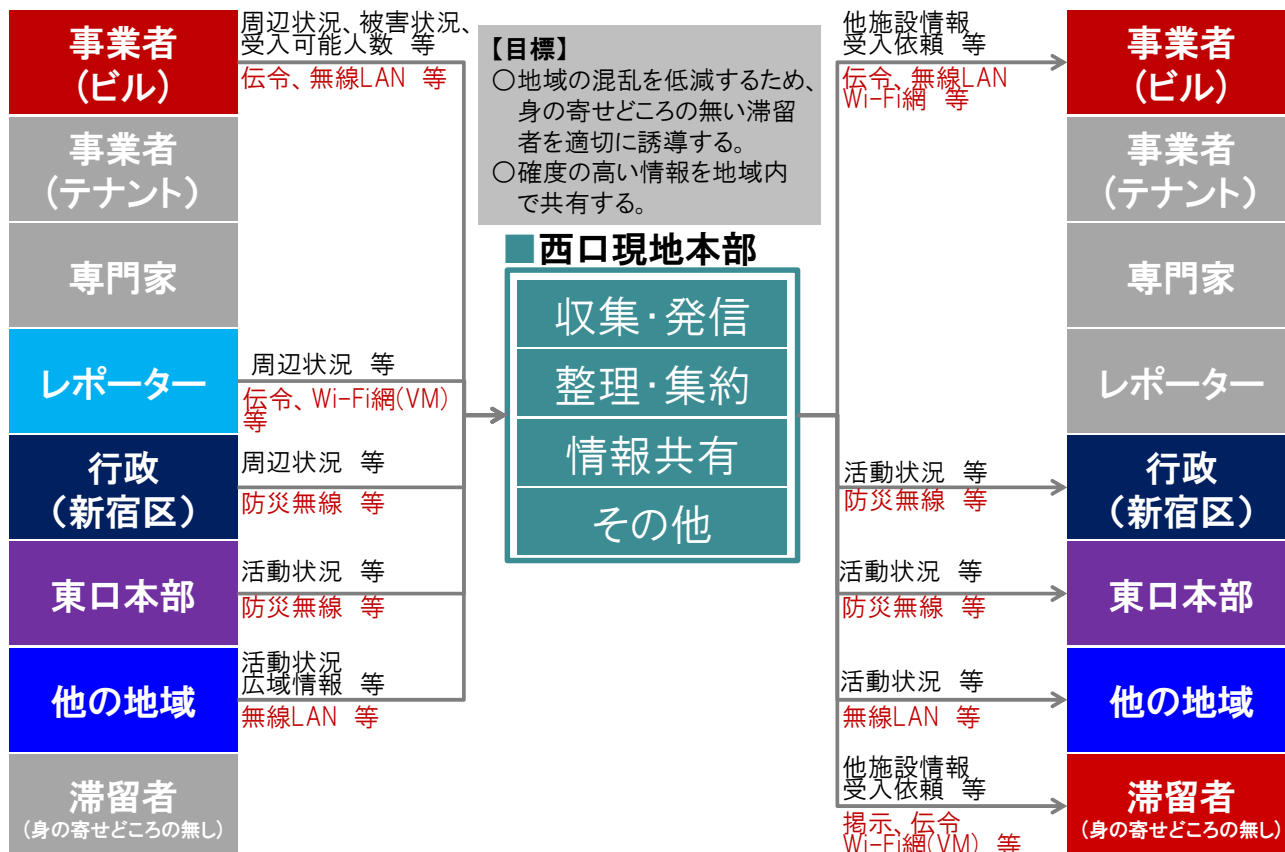
(2)西口現地本部における情報共有ルール

西口現地本部における情報共有にあたっては、西口現地本部の活動目的である「駅周辺の情報交換」「地域の医療救護」及び「地域の災対活動支援」の3分野に分けて整理します。



(3)西口現地本部と関係機関の情報のやりとり

①駅周辺事業者の情報交換



②地域の医療救護情報



③地域の災対活動支援



(4)現地本部内での情報の整理・共有方法

取りまとめの様式(案)を 11 章に示しました。状況に応じて柔軟に加工等を行い取りまとめます。

①駅周辺事業者の情報交換用ホワイトボード

事業所内(ビル内)への一斉帰宅の抑制や駅前滞留者の円滑な誘導に資する情報を整理します。

入手した情報のうち、どこに整理して良いかが不明な情報は、「入手情報の記録」(11 章(3))を参照)に時系列で整理します。(時系列に整理する情報は、模造紙等を取り換える、又はデジカメで記録する等行い記録を残しておきます。)

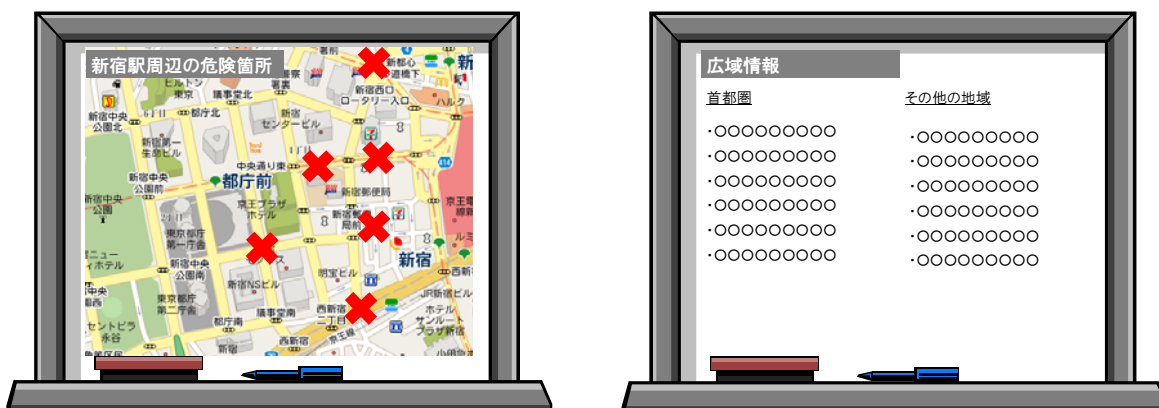
○記載すること

1)新宿駅周辺状況【地図も活用して整理】

駅周辺の危険箇所や主要拠点(帰宅ステーション等)の状況について記載します。

2)広域情報

各事業所が入手可能で上記目的に沿って共有が望まれる広域的な情報を記載します。



②地域の医療救護情報提供用ホワイトボード

新宿駅周辺の傷病者対応の状況について情報を整理します。

○記載すること

1)地域の応急救護所の対応状況

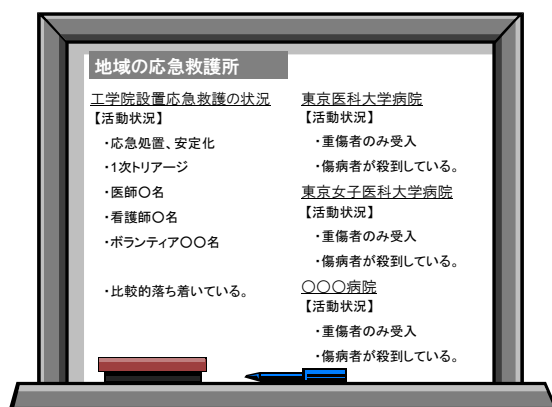
クラウド上から地域の医療救護所の対応状況(活動の内容、対応能力)を入手して記載します。

2)近隣の災害拠点病院等の状況

新宿区から近隣の災害拠点病院等の医療機関の対応状況(活動の内容、対応能力)について記載します。(災害発生時には重傷者以外の受入は難しいことも考慮します。)

×記載しないこと

個別事業者(ビル)で発生した傷病者数や搬送希望数等については、ホワイトボードには記入せずに、ホワイトボードの記載内容をもとに当該個別事業者に搬送先の助言を行います。(何処の事業者にどのような助言を行ったかについては別途記録を残します。)



③地域の災対活動支援用ホワイトボード

新宿駅周辺事業者等による、ヒト・モノ両面での相互の災対活動支援のための情報整理を行います。

○記載すること

1) 応急救護用資材の提供可能数と要請内容

- ・ 応急救護に関する資材の提供可能数（管理者、連絡先、資機材の種類、提供可能数）
- ・ 要請内容（要請元、連絡先、希望資機材、希望数）
- ・ マッチング結果

2) 応急救護ボランティアの派遣可能数と要請内容

- ・ 応急救護の実施可能ボランティアの派遣可能数（管理者、連絡先、派遣可能人数、スキル等）
- ・ 要請内容（要請元、連絡先、目的）
- ・ マッチング結果

3) その他資機材の提供可能数と要請内容

- ・ その他資機材の提供可能数（管理者、連絡先、資機材の種類、提供可能数）
- ・ 要請内容（要請元、連絡先、希望資機材、希望数）
- ・ マッチング結果

4) 建物被害対応専門家の派遣可能数と要請内容

- ・ 建物被害対応専門家の派遣可能数（管理者、連絡先、派遣可能人数、特記事項）
- ・ 要請内容（要請元、連絡先、目的）
- ・ 優先順位の判断/マッチング結果

5) その他ボランティアの派遣可能数と要請内容

- ・ その他ボランティアの派遣可能数（管理者、連絡先、派遣可能人数、特記事項）
- ・ 要請内容（要請元、連絡先、目的）
- ・ マッチング結果

×記載しないこと

個別事業所の要請にこたえることは難しいため、基本的にはビル・地域単位の要請について記載し、対応を行うこととします。

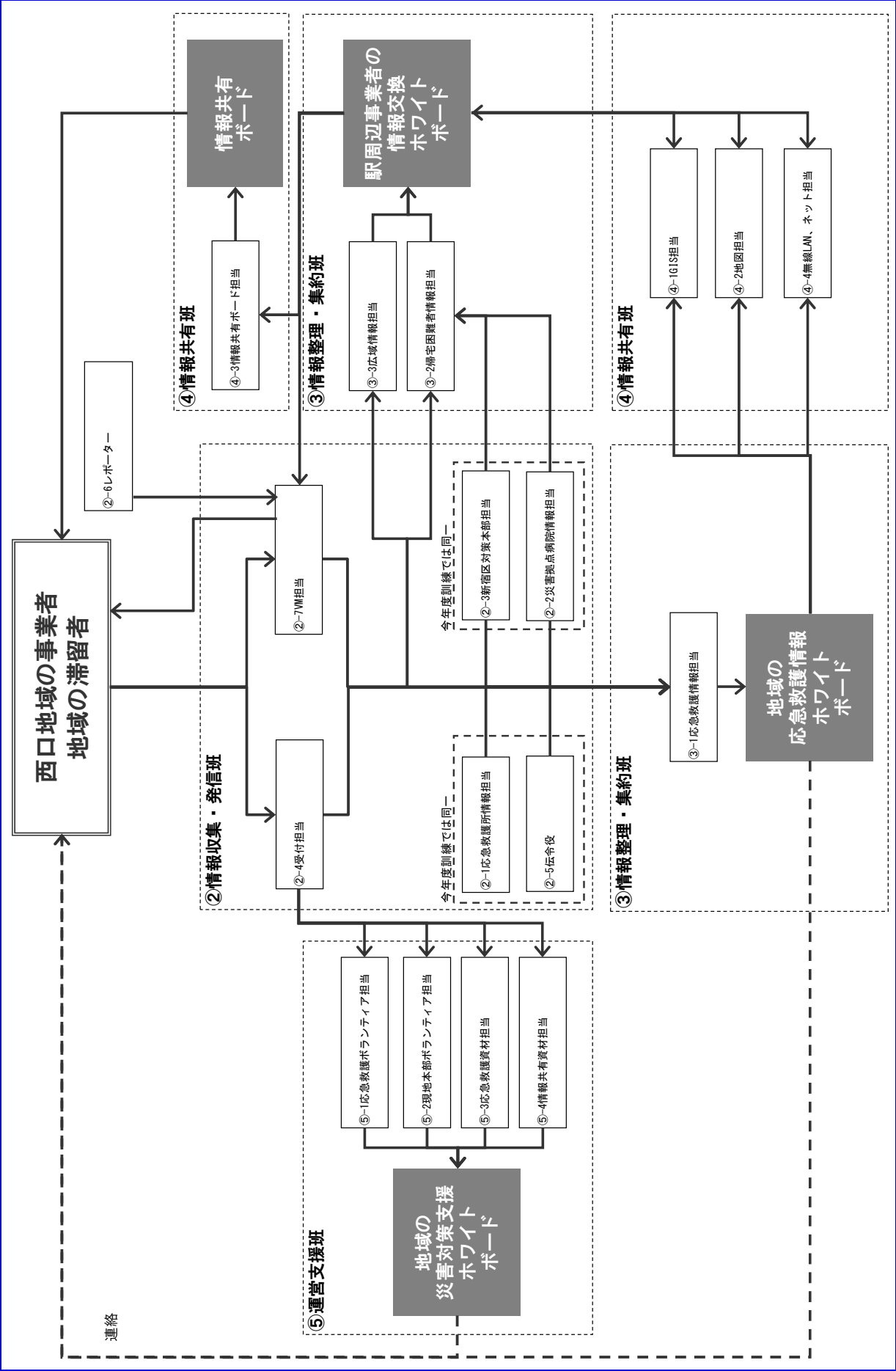
応急救護用資材		
担架	【提供可能】	【要請】 マッチング
	〇〇台(西口現地本部)	〇〇台(〇〇ビル)
	〇〇台(エステックビル)	〇〇台(〇〇ビル)
応急救護キット	【提供可能】	【要請】
	〇〇台(西口現地本部)	〇〇台(〇〇ビル)
	〇〇台(〇〇ビル)	〇〇台(〇〇ビル)
応急救護キット	【提供可能】	【要請】
	〇〇台(西口現地本部)	〇〇台(〇〇ビル)
	〇〇台(〇〇ビル)	〇〇台(〇〇ビル)

応急救護ボランティア		
日赤ボランティア	【派遣可能】	【要請】 マッチング
	〇〇人(西口現地本部)	〇〇人(〇〇ビル)
		〇〇人(〇〇ビル)
		〇〇人(〇〇ビル)
		〇〇人(〇〇ビル)
救命講習ボランティア(上級救命、日赤講習受講者等)	【派遣可能】	【要請】
	〇〇人(西口現地本部)	〇〇人(〇〇ビル)
	〇〇人(〇〇ビル)	〇〇人(〇〇ビル)
		〇〇人(〇〇ビル)
		〇〇人(〇〇ビル)

ID nishiguchi.drill.2011 Pass H26nishiguchi

13

(5)西口現地本部での情報の流れ



(6)新宿区対策本部との連絡

新宿区対策本部との連絡にあたっては、適時防災無線を用いて連絡・情報共有を行います。

(7)身の寄せどころのない滞留者の誘導

大型ビジョン、デジタルサイネージ、館内放送、伝令、拡声器、公衆無線 LAN (Wi-Fi) 等を用いて身の寄せどころのない滞留者に、まずは避難場所（西口は新宿中央公園、東口は新宿御苑）へ誘導します。その後、建物安全確認等がとれしだい帰宅困難者一時滞在施設へ誘導します。

(8)建物被害対応専門家への対応

地域の即時使用性判定のために、参集した建物被害対応専門家に対しては、各ビルの防災センター等から提供された情報を提供し、判定の優先順位付けを依頼します。また、専門家の参集状況及び優先順位付け結果については、各ビルの防災センター等に対して情報発信を行いません。

(9)バーチャルマップによる情報収集・発信【今年度は実施せず】

①情報収集

西口エリア内に設置されるバーチャルマップは、停電時及びネット切断時でも周囲の滞留者に情報を収集・発信できる拠点です。あらかじめ決められた調査員（レポーター）は、このバーチャルマップのアクセスポイントを通じて情報を投稿することができます。

②情報の確認・選別

調査員からの投稿情報、及び新宿区からの伝達情報、さらには各ビルから提供されるビル情報（安全性・けが人・受入可否等）などが西口現地本部に集まります。そこで、これらの情報を確認・整理し、滞留者へ発信する情報の選別をおこないます。

③情報発信

②で選別した情報について、適切なタイミングでバーチャルマップのサーバへアップロードします。各バーチャルマップから発信される情報は、その周囲の滞留者が各自の携帯・スマホを使用してリアルタイムに入手できます。訓練では一時滞在施設情報マップを発信し、滞留者役は変化する受入施設の受入可否状況や受入可能人数情報を見ながら避難をおこないます。

④調査員（レポーター）の派遣

あらかじめ決められた調査員は、バーチャルマップを通じて情報を投稿することができます。訓練時には数名の調査員を派遣し、各所の被災状況等の投稿をおこないます。

10. 西口現地本部で必要な主な資材【要確認】

No	用途	項目	数量
1	本部運営用	長テーブル	14
2	本部運営用	椅子	20
3	情報整理用	ホワイトボード	6
4	情報整理用	ホワイトボード用マーカー(黒、赤、青)	各 6 本
5	WEBGIS 用	ノート PC	3
6	WEBGIS 用	WEBGIS モニター	1
7	パソコン用	LAN ケーブル	必要数
8	PC 電源のため	延長コード	2
9	PC 電源のため	電源リール	1
10	情報整理用	新宿駅周辺マップ(A0 版) 紙地図	3
11	情報整理用	ボールペン	20
12	情報整理用	A4 メモ用紙(束)	1
13	情報整理用	ポストイット(青、黄、赤)	各 10 個
14	情報整理用	マジック(黒、赤、青)	各 5 本
15	情報整理用	1都6県 首都圏地図	1
16	指揮用	メガホン	1
17	本部員用	ゼッケン	人数分
18	情報発信・共有用	防災無線(区が持ち込み)	1
19	PC 電源のため	延長コード 5m、2m	各 3 本
20	PC 電源のため	電源リール	2 台
21	その他	セロハンテープ 本体、テープ	1 台、10 個
22	その他	ゼムクリップ 500本×10箱	1 つ
23	記録用	デジカメ (村上研)	2 台
24	その他	懐中電灯	3 個
25	情報整理用	ポストイット各種	必要数
26	情報整理用	ホワイトボードマーカー 黒、赤、青	各 30 本
27	情報整理用	ホワイトボードクリーナー	5 個
28	情報整理用	スチールクリップ、マグネット	20 個
29	情報整理用	水性ペン 黒、赤、青	24 本、17 本、6 本
30	指揮用	マイク+スピーカー	1 台
31	情報整理用	どこでもシート 透明	2 本
32	情報整理用	どこでもシート 白	2 本
33	本部員用	ゼッケン (本部長、副本部長)	各 2 枚
34	本部員用	ゼッケン (情報収集・発信班、情報共有班、 運営支援班、情報整理・集約班、訓練スタッフ)	各 20 枚
35	本部員用	ゼッケン (訓練)	100 枚

11. 西口現地本部における情報共有フォーマット

(1)地震に関する情報

発生した災害(地震)に関する情報	
記入日時	
発生日時	
地震の発生場所 震源・深さ	
マグニチュード	
各地の震度	
津波警報	

(2) 主要な関係拠点と連絡先

主要な関係拠点と連絡方法					
No	拠点名	活動状況	連絡先担当	連絡先	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					

(3)入手情報の一時的な整理

入手情報の記録						
No	入手時刻	情報の概要	対応の要否	担当者	期限	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						

(4)各ビル等における傷病者等の発生状況

新宿駅西口地域の高層ビル傷病者発生状況一覧

番号	区分	想定場所と名称	傷病者数 歩ける人	傷病者数 歩けない人	備考
1	新宿 駅 周辺 の 高 層 ビ ル	相互住宅(新宿第一生命)			
2		新宿NSビル			
3		新宿モノリス			
4		新宿エルタワー			
5		新宿センタ－ビル			
6		新宿住友			
7		オークタワー			
8		住友セントラルパークビル			
9		新宿野村			
10		新宿パークタワー			
11		新宿国際（東京都都市開発）			
12		新宿アイランド			
13		東京オペラシティ			
14		損害保険ジャパン			
15		工学院大学			
16		三井不動産（新宿三井ビル）			
17		エステック情報			
18		京王プラザ			
19		ハイアットリージェンシー東京			
20		グリーンタワー			
21		東京都庁			
22		KDDI			
23		ヒルトンインターナショナル			
24		ワシントンホテル			
25		ファーストウエスト			
26		新宿スクエアタワー			
27		日土地西新宿ビル（オークタワ－ツインビル）			
28		モード学園			
29		JR東日本			
30		新宿マインズタワー			
31		NTT代々木ドコモ			
32		小田急サザンタワー			
33		・・・			

(5)各ビル等の安全性確認結果

[illegible]

以上